

PROGRAM

プログラム紹介

初期研修プログラムの紹介

国立病院機構 鹿児島医療センター

手厚い指導と自由度の高い研修 充実の設備環境や専任秘書も特徴

鹿児島医療センター 消化器内科 部長／臨床研修管理委員長 森内 昭博



鹿児島医療センターの初期臨床研修について――

当院は病床数410床、診療科19を有し、前身は1945年開設の国立鹿児島病院から始まる歴史と伝統のある病院です。「循環器」・「脳卒中」・「がん」を3本柱とし、循環器疾患や脳血管疾患の救急・急性期医療に強い病院です。がんについては、2006年に「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、耳鼻咽喉科、皮膚腫瘍科は周辺地域における数少ないがん治療施設であり、特に皮膚腫瘍科は全国的にも珍しく、手術実績は九州随一を誇ります。

鹿児島大学病院との関係性が深く、大学の教官経験者が多く在籍しており、さらに臨床研究部が設置されているなどアカデミック面に強いことも特徴です。

協力型臨床研修病院・施設が豊富で、他病院の研修医、先生方との交流を通して幅広い視野と人脈を培うこともできます。

協力量型臨床研修病院・施設が豊富で、他病院の研修医、先生方との交流を通して幅広い視野と人脈を培うこともできます。

VOICE × 臨床研修医

働きながらしっかり学び、医師の礎を築く

臨床研修医 1 年目 井上 雄大

私は循環器に興味があり、当院では多くの循環器症例に携われることや、心臓カテーテル手術に研修医が参加できる点に魅力を感じています。救急では命の現場に立ち会い、医師として最善を尽くす姿勢や心構えを学び、医師としての基礎を築いていることを実感しました。意欲のある方には多くの学びや挑戦の機会がある研修環境です。

PROFILE

出身地：鹿児島県
出身大学：鹿児島大学(2024年度卒)
宝物：家族
座右の銘：不撓不屈



フィードバックが充実。手技機会も豊富です

臨床研修医 2 年目 秋元 あこ

見学時に、研修医の先生方の手技に対し、指導医の先生方が丁寧にフィードバックをされている姿を見て当院での研修を志望しました。充実した指導体制のほか、協力型病院が多く、個々の希望や目標を叶えるための最適なプログラムが組めることも魅力。手技機会も豊富で、能動的に研修に臨めばいくらかでも成長できる病院です。

PROFILE

出身地：鹿児島県
出身大学：鹿児島大学(2023年度卒)
宝物：家族
座右の銘：前途洋々



充実設備の研修医室が完備されており、事務業務や研修プログラムの調整などをサポートする研修医専任秘書がいるなど、研修に専念できる環境も魅力でしょう。生活設備を完備した研修医用宿舎も併設されており、鹿児島市内の協力型病院での研修であれば当院の宿舎から通うことも可能です。

プログラムの特徴について――

内科系(24週)、外科系(8週)、救急部門(12週)、小児科・産婦人科・精神科・地域医療(各4週)、一般外来(4週)を必修とし、自由選択期間が32週と長いことが特徴。当院や豊富な協力型臨床研修病院・施設の中から診療科を選択することができ、一人ひとりの目標や目指すキャリアに沿ったオーダーメイドプログラムを作成することが可能です。

研修医の定員は一学年15名ですが、きめ細やかな指導ができるよう、各科をローテーションする研修医は最大でも3名までに調整しています。準夜勤の救急当番や、一部の診療科で夜勤・土日祝日の日勤がありますが、研修医には当直がないことも特徴です。

読者へのメッセージ――

どんなに優れた研修環境であっても、医師としてどれだけ成長できるのかは本人の意欲と努力次第です。研修医のみなさんには意欲を持って主体的にどんどんチャレンジし、実践経験を数多く積み重ねてほしいと思います。「これがしたい」「こ

んなことをしてみたい」という、みなさんからの積極的な要望によって、当院が研修病院としても大きく成長できることを期待しています。

また、研修期間をより有意義に過ごすためには、できるだけ早期に目標を決めることも大切です。目標が明確になることで、研修プログラムの選択肢に意味が生まれ、一つひとつの経験がより濃密なものとなり、同じ研修期間であっても得られる成果は大きいでしょう。



PROFILE

出身地：宮崎県
出身大学：鹿児島大学(1995年卒)
宝物：家族との時間
座右の銘：「慌てない慌てない
一休み一休み」

研修医へオススメの本

医師による医師のための
ChatGPT 入門
大塚 篤司(著)



国立病院機構 鹿児島医療センター

住所 鹿児島市城山町 8 番 1 号
WEB <https://kagomc.hosp.go.jp>

病床数 **410** 床 診療科数 **19** 科

鹿児島医療センターの特徴

鹿児島医療センターは、西郷隆盛が設立した私学校跡地に建てられており、歴史と伝統を有する病院である。鹿児島市の中心部に位置し、循環器やがん治療をはじめとした多様な診療科を展開している。2018年春には410床へ増床し、県内有数の基幹病院として、急性期から終末期医療、一般診療から高度医療まで幅広い分野をカバーしている。都市型医療と地域医療の双方に対応し、1次から3次救急までバランスの良い研修が可能である。精神科や地域医療分野については協力病院での研修を実施している。多様な経験が積める研修環境が整っている。



BACK NUMBER × バックナンバー
過去の「NHO NEW WAVE」が
WEBサイトから閲覧できます！

https://nho.hosp.go.jp/education/education_nho.html

NHO ニューウェーブ 検索



NHO 本部公式
SNSアカウント

本部のSNSで発信したい情報があれば広報係までご相談ください！

facebook

X



NHO NEW WAVE

読者アンケート実施中！

◀左記二次元コードよりご協力ください